

みなさんお元気ですか。

2017年9月の道場での様子をお便りします。ご覧くださいませ。



9月1日、マウリシオ (Mauricio) の2級審査を行った。彼は、U.C.A 大学の1年生で、まだ20歳前だと思う。最近勉強が忙しらしく余り稽古には来なかった。しかし、審査をしてみると言ったら急にできてきた。彼は技を覚えるのが早い。彼も私が就任して以来、辞めないできている生徒の一人だ。彼の良い所はボランティア精神に満ちていることだ。道場に早くきたときは、マットを敷く作業を率先してやってくれる。また、私の通訳もかってくれる。ただし、彼の英語はまだうまくないように思えて、彼の言っていることがよく理解できないところがある。最近、彼は、同じ高校時代の友人を稽古につれてきた。この友人の名前は、サルバドール (Salvador) とカルロス (carlos) 君だ。二人ともほとんど話をしない。私が技を見せて説明しても、英語が分からないからか、返事もしない。この事を他の上級者に話したら、マウリシオが初めて道場に来たときも同じようだった、と説明してくれた。マウリシオも成長したのだなあと思った。



9月2日、エドアルド (Eduard) の2級審査を行った。彼は、いつも控えめだけど、私の技をよく理解してくれている。この道場の中の3人のうちで、一番うまい。また、私の事にもよく気を使ってくれる。ある時は、一緒に食事に誘ってくれた、また海にも連れてくれた。この道場の3人組とは、「合気即生活」道場の人たちとは違う家族的な雰囲気がある。この道場、「武士道道場」は、特別な地区にあるように思えてならない。この道場にはいつもタクシーでくるのだけど、道場のあるこの区域にはいるためには、守衛がいる門を通過しなければならない。そして、その門をくぐるとそのあたりの家々には、普段よく見かける防犯用の鉄線が屋根上には設置されていない。きっと安全な地域なのだろう。またこの地域の住民もある程度裕福なのかもしれない。だから、この道場の生徒たちもある程度余裕のある人たちで家族的なのかもしれない。



9月4日、グロリア（Gloria）の4級審査をした。彼女は、今年の1月から合気道をはじめた。彼女は非常に熱心だ。また、道場の皆に好かれている。また、道場の皆をよくまとめてくれる人でもある。私がニカラグアに来て、感じることは、女性がしっかりしていて、リーダー的な存在の人が男性より多いことだ。彼女の合気道経験は、これからだけでも、この道場の運営や企画は彼女に任したい。道場長は、技に関しては素晴らしいと思うけど、リーダーには向いてないように思う。生徒たちへの配慮に欠けていると思う。以前、道場の利用時間になっても管理人が施設を開放してくれないことがあった。その時に、私が市の広報担当部長に交渉すると言ったら、グロリアさんは、私が手紙を書いてあげると言って、翌日そのメールをくれた。そして、そのメールを基に、交渉して管理者の態度も改善されたことがある。彼女は弁護士で、保険関係の仕事をしているとのこと。私が離任した後も続けてほしい人の一人だ。



9月7日、ホセ（Jose G）の2級審査を行った。彼は、最近マナグア市からレオン市に転勤し、稽古にくる回数が減った。今回も受審資格の日数に少し満たないのだけど、本人の希望もあって、また私の最後の機会でもあるので、了承した。彼は、日本の武道、文化、さらにゲーム（ポケモン）なども非常に興味をもっている。彼は、合気道開祖の思想にも興味があり、将来は、合気道の指導者になりたいと言っている。私は、審査を、4か月に1回の割合で、実施する。実施する1か月前から審査の準備として、クラスでの稽古は、受審者の審査項目に合わせて技を説明する。彼は、自分が受ける2級の技について、私によく質問してきた。また、自分でも「受け」を捕まえて、私に見てほしいと言ってよく稽古した。彼は、職場の関係で稽古にでてくる回数は減ったが、この道場に残ってほしい一人だ。



9月7日、アレキシア (Alexia) の3級審査を実施した。彼女には、5級、4級の審査を今までにやってきた。約2年前に初めてアレキシアを見たとき、彼女のヤンキーっぽい服装には驚いた。この人が合気道をするのか、と思った。しかし、見かけによらず、おとなしく礼儀正しかった。そして、今でも辞めずに合気道をつづけている。先週、我が家で行ったバーディーの席で、私に初めて会った時の印象について話してくれた。彼女の私に対する印象は、「恐そうに見えて、緊張した」と言っていた。彼女は、いつもは別の道場「武道館」道場で、Anibal先生と稽古している。最初は、「受け」もあまりうまくないし、また「受け」もあまりとりたくない感じがした。しかし、今回の審査では、技も正確になってきたし、受けもうまくなった。まだ、17歳だけど、今後も続けてほしい。また、彼女の変わりようもたのしみだ。



9月7日、ノルビン (Norvin) の3級審査を行った。彼も5級、4級の審査を以前にやった。彼はおとなしい性格だ。いつもは「武道館」道場でアレキシアたちと稽古している。アレキシアといつも一緒に行動しているようだったので、彼もまだ若いと思っていた。しかし、実際は、40歳を超えているとのことだった。道理で落ち着いているのかと思った。彼は、柔術も習っていたらしい。こちらの方は、合気道が始める前に、柔術を習っていた人が多い。こちらの方は、攻撃的な技を好むみたいだ。彼の技は正確だけど、以前に習っていた柔術と混ざっているようにも見える。また、こちらの方はめだちたがりが多いのだが、彼は控えめである。しかし、本当に武道が好きだ、といったような感じを持つ。これからもAnibal先生を支える意味でずっと合気道をつづけてほしいと願っている。